

■御殿場中央公園/ごてんばアート・クラフトフェア（御殿場市）



Description

富士山を望む御殿場中央公園で毎年1回開催される『ごてんばアート・クラフトフェア』、2009年より開催され今年で6回目を迎える。今年は9月20日、21日の土日に開催予定。

メイン会場である「クラフト・アートの庭」には、全国からスゴ腕作家さん170組が大集合。「ワークショップの森」ではアーティスト&作家さんが先生になって、作品作りが体験できる。「くらのすけ横丁」では富士山周辺の実行委員お勧めの物産、お土産物を販売。「グルメフード広場」では普段カフェや、レストランをされている方を中心に露店で出店する美味しいもの街。『パフォーマンスの島』ではプロのミュージシャンが刺激的なライブを繰り広げる。

県東部に、御殿場に『アート』『クラフト』という文化を根付かせたいと、有志実行委員で始まったこのフェア。年々入場者数も増え、2日間で1万人が訪れる規模にまで成長した。お楽しみがいっぱい詰まった丸一日家族で楽しめるイベントになっている。詳しくは公式HP: <http://g-kuranosuke.jp/>まで。



土地の合理的かつ健全な高度利用を生む市街地再開発事業

■なゆた浜北（浜松市浜北区）



浜松市は老朽化した浜北区役所を「なゆた浜北」に移転計画中

Description

「なゆた浜北」は遠州鉄道浜北駅前の活性化を図るため2003年に建設され、公共施設・商業・住宅などが入るが、浜松市は既存施設の活用と利便性上、駅前活性化の一石三鳥を図るため、区役所を駅前の「なゆた浜北」に移転することを発表した。過去の街の活性化方法としてはイベントなどの催し物を行う事が有効と考えられたが、今回の移転計画は今までに無い大胆な発想から生まれたもので、今後浜北区は浜松市の副都心として発展していくのは間違いない。しかし、課題は駐車場問題、このことが解決できれば移転もスムーズにいくであろう。

■掛川駅前東街区第一種市街地再開発事業（掛川市）



(2014年7月に着工、2016年3月完成予定)

Description

街中居住の促進や商業・公益施設とともにイベント広場を整備して、地区の回遊性の高い市民が憩える都市環境を創出する。

■静岡市内で進行中の市街地再開発事業



静岡駅南町10地区完成予想図(2015年11月竣工予定) 草薙駅南口地区完成予想図(2016年3月竣工予定)

Description

静岡市内では呉服町通り、JR静岡駅南口及びJR草薙駅南口において、組合による第一種市街地再開発事業の工事が進行している。

呉服町タワー 呉服町通り伊勢丹デパート斜向えに新たなランドマークとしてこの3月にオープンした。

■特集 | 中心市街地の賑わいづくり

東日本大震災から3年が経過し、住民の津波に対する不安はどのような影響をもたらしたか？

総務省が1月に公表した昨年の人口移動報告では、静岡県は転出者が転入者を上回る「転出超過」が6,892人と、全国で北海道に次ぐワースト2位で、市町村別にみても、沼津市が1,239人と全国で6番目に流出が多い結果となりました。特に25歳から54歳までの「働き盛り」の世代で転出超過が目立っています。

このような状況になった第一の要因は、景気回復の遅れや企業の海外進出等による雇用環境の悪化の影響と考えられます。ただ、沿岸部市町においては、大震災により住民や企業などの津波などへの不安が助長された結果とも言え、改めて津波防災対策の重要性が指摘されています。